

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	国際交流事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	130116	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010402	施策名	外国籍市民が住みやすく訪れやすい環境を整備する								
	開始年度	平成1年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	外国籍市民と日本国籍市民が相互理解を深めながら、お互いに快適に暮らすことが出来る「誰にも優しい国際化」及び市民が自ら地球的視野に立って考え、行動することが出来る「市民参加の国際化」を図り、誰もが幸せを感じることが出来る多文化共生社会の実現を目的とする。											
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等												
	事業概要	■平成30年度事業概要 ・国際交流ネットワーク会議の運営 ・国際交流活動ボランティアの運営 ・日本語教室の支援 ・外国籍市民生活支援事業 ・国際交流多文化交流会 ・文化庁地域日本語教育スタートアッププログラムとの連携事業 ・各加盟団体のサポート、イベント支援 ・国際交流ボランティア活動の運営											

主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	報償費		
旅費		京都府国際センターへの会議等出席	22
需用費		消耗品	111
役務費		郵送料	34
使用料及び賃借料			0

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
①当初	266	218	178	492	
②補正予算					
③流充用額	△ 12	0	31		
④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越					
次年度繰越					
財源内訳 (①③④内訳)					
一般財源	254	218	209	492	
国支出金	0	0			
府支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他特財	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
従事職員数 (正職/嘱託)	0.20 / 0	0.1 / 0	0.3 / 0	0.3 / 0	
⑤概算人件費	160	80	2,400	2,400	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	414	298	2,609	2,892	
⑦執行額	144	178	167	0	
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	56.7%	81.7%	79.9%	0.0%	

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	イベント参加者数	人	146 / 100	138 / 100	133 / 100	/	100
国際交流ボランティア登録者数	人	64 / 70	64 / 70	55 / 70	/	70	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	国際交流イベント回数	回	4 / 5	4 / 5	4 / 5	/	5
	単位あたりコスト		63.5	44.5	21.8		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市に在住・滞在する外国籍の方が安心・安全に暮らせることは、人権の観点からも必要で、利便性や安全性の向上につながるものであり、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	国際交流ネットワーク会議が主体となって、民間活力により効率的な運営ができています。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国際交流ボランティアと外国籍市民との交流により、国際感覚豊かな人材育成を図ることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		国際交流イベントの開催数及び参加者数の更なる増加とともに、事業を通じて多文化共生社会への理解・共感を促すことが必要である。	
今後の課題及び方向性		<p>○本市の多文化共生施策を推進する機関として、国際交流ネットワーク会議のあり方を検討する。</p> <p>○平成31年4月からの在留資格の拡大により、在住する外国籍市民が増加することが考えられる。増加するであろう外国籍市民が福知山市で安心・安全に生活できるよう、関係団体や関係課と連携し支援を検討する必要がある。</p> <p>○福知山公立大学や市内日本語教室、国際交流機関と連携を取りながら、多文化共生社会に対応できる施策を検討する必要がある。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	地域CI展開事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	130311	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
	開始年度	平成3年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	魅力的なまちづくりを進め、ふるさとへの愛着心の高揚を図るため、市の木・花・鳥及び本市イメージキャラクターの普及・啓発を図る。市の木・花・鳥及び本市イメージキャラクターを市内外に普及・啓発することで、福知山市の個性化を図る。										
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	■平成30年度事業概要 ・市の木・花・鳥の普及、啓発。市の木・花・鳥のパンフレット配布。 ・イメージキャラクター「ドッコちゃん」の着ぐるみ貸与と「ドッコちゃん」と酒呑童子のイラストを活用し、市民への啓発を図る。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		需用費	消耗品					35				
役務費		郵送料、クリーニング代					9					
旅費		地域力再生プロジェクト説明会参加旅費					7					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	163	59	57	*秘書広報課に所管替え	
	②補正予算					
	③流充用額	1	4	△ 6		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	164	63	51	0	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.10 / 0	0.1 / 0	0.22 / 0	0.22 / 0		
⑤概算人件費	800	800	1,760	1,760		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	964	863	1,811	#VALUE!		
⑦執行額	105	44	51			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	64.0%	69.8%	100.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		観光入込客数	人	922951/942000	946618/942000	950000/942000	/	942000
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		着ぐるみ貸し出し件数	回	26 / 40	42 / 40	22 / 40	/	40
		単位あたりコスト		6.3	1.0	2.3		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	着ぐるみは市内イベント等で活用され市民やイベント主催者のニーズは高い。また、イラスト使用にあたっては、各種媒体で使用することにより本市のPRになる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	多様なイベントで活用され、コストをかけずに周知が図れ効率的な事業運営ができています。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市の花に親しむとともに、キャラクターのかつようにより子どもから高齢者まで、ふるさと福知山を実感できる機会となり有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		○着ぐるみ貸出件数は年度によって増減があるものの、一定の需要はあり、今後も更なる広報活動を行い、利用を促していく。	
今後の課題及び方向性		○シティプロモーションと一体化した事業展開を行っていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	移住・定住促進事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	220106	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する								
	開始年度	平成27年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等	まち・ひと・しごと・あんしん創造総合戦略											
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくり。若年層や子育て世代をはじめ、アクティブシニア等、あらゆる世代の交流・地域体感などの機会を提供し、移住・定住人口の増加による地域振興を図ることを目的とする。										
	対象者	移住希望者・移住者受入地域	対象者数	165	単位あたりコスト	292.7						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	〈委託先・実施主体等〉株式会社ツナグム(移住促進Webサイト保守管理)										
	事業概要	(1)移住希望者、移住者に関する支援・情報発信等(移住促進Webサイト運営、移住情報誌作成、フェア出展等) (2)農山村地域の活性化、集落維持を目的とした空き家の利活用促進支援(空き家バンク制度運営、改修費補助金等) (3)受入地域支援など意識醸成(各地域協議会との連携、特別促進区域指定に関する支援) (3)地域連携都市圏負担金(7市町協働での情報発信、移住希望者分析など)										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)					
		旅費	移住フェア出展等				232					
		需用費・役務費・備品購入費	移住者紹介チラシ、消耗品費、郵送料等				1,547					
		移住専用HP保守委託費	移住促進Webサイト保守管理に係る業務委託料				700					
		使用料	レンタルサーバ、移住フェア等出展料				1,004					
負担金・補助金	移住定住促進補助金				12,144							
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	8,539	18,293	23,071	19,370	
	②補正予算			0		
	③流充用額	1,446	5,340	0		
	④繰越額計	7,652	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
財源内訳(①③④内訳)	一般財源	8,547	240	9,065	0	
	国支出金	7,652	2,048	1,598	1,773	
	府支出金	719	9,648	4,277	8,692	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	719	11,697	8,131	8,905	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁		
人員費	従事職員数 (正職/嘱託)	1.56/0.55	1.68 / 0.45	2.84 / 1	2.84 / 1	
	⑤概算人員費	13,855	14,565	25,220	25,220	
	⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	31,492	38,198	48,291	44,590	
	⑦執行額	14,825	16,339	15,627	0	
	執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	84.1%	69.1%	67.7%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		制度利用による定住者数	人	33/20	10/20	34/20	/	181
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	新規移住希望者名簿登録数	件	181/100	65/100	81/100	/	-	
	単位あたりコスト		181.0	251.0	192.9			
	HP閲覧回数	回	--	17,725/10,000	184,794/10,000	/	-	
単位あたりコスト		-	0.9	0.06				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・都市住民の地方への移住志向とニーズは高い。 ・過疎高齢化、少子化など人口減少に伴う地域活力低下という課題への対応策として、地域住民のニーズは高い。 ・民間団体による移住(希望)者支援のためのネットワークづくりに取組んでいる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度のあり方、適用範囲など空き家バンク制度の運用面では課題がある。 ・優良物件の確保が本事業の成否を左右する。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイト、情報誌配架、移住フェア出展など、様々な手段による情報発信と地域意識の醸成で、空き家物件数・情報登録者・空き家物件成約数は増加している。成果にとらわれず、受入れ地域・移入者の満足度の高い取組みを進める。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価			<ul style="list-style-type: none"> ・住宅支援金、雇用奨励金の補助事業が終了したため、成果実績・活動実績は、事業に見合う指標に変更した。 ・近年の地方移住の国全体の施策や、本市独自のWEBなどの情報発信、各種支援制度の構築などにより、空き家バンク制度の利用者数や空き家物件、成約数などの実績は全て増加傾向にある。 ・地域協議会主催の移住者交流会の開催や空き家物件の登録、農家民宿の開業に向けた取組みなどの実績が出てきており、受入地域の意識は上がっていることもあり、今後も地域協議会や自治会など受入地域と連携し事業を進めていく。 ・移住促進Webサイトは内容を充実させ好評であるため、継続して質の向上に努めるとともに、都市部でのPR活動と併せて移住希望者の新規登録に結びつけていきたい。
今後の課題及び方向性			<ul style="list-style-type: none"> ・セミオーダー型福知山体感ツアーやふくちやまワークステイ、移住特別促進区域の住民説明などを地域協議会等の地域団体と協働で実施することで、受入地域の更なる意識醸成を図るとともに、移住(希望)者と地域を繋げることで、関係人口の増加や人が人を呼ぶ循環を生み出していくとともに、多くの優良空き家物件の掘起しに繋げる。 ・移住促進Webサイトや情報誌など、常に内容を更新、精査し移住関心層へ必要な情報が届くよう情報発信に努めていく。

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
予算額の反映状況(対H31)		担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	内宮参道活性化事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	220135	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別交付税対象事業）											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	人口減少、高齢化、空き家増加など集落機能の低下や担い手不足が重要な課題となっている農山村地域において、都市部より移住し、地域協力活動を行うおこし協力隊を配置し、地域課題の解決や地域の維持・活性化を図る。										
	対象者	大江町北部地域の受入地域を中心とした大江地域	対象者数	724	単位あたりコスト	7.2						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他（ ）										
	委託先・実施主体等	地域おこし協力隊										
	事業概要	地域内の空き家に移住者を受け入れて地域おこしを行う地域に対し、市が委嘱した地域おこし協力隊(ふくちの村来人)を配置し、地域協力活動を行う。 ・大江町北部地域(内宮、毛原、北原、仏性寺) 【隊員の活動内容】 ・地域内の交流拠点を活かしたまちづくり活動、地域内外の人的交流の推進及び移住促進に向けた取組 ・移住希望者への情報発信、相談、支援										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)					
		報酬・旅費	協力隊員報酬、旅費				2,418					
		需用費・備品購入費	消耗品、燃料費				183					
		役務費	wifiルーターsim利用料、送料、自動車損害保険				25					
		使用料及び賃借料	パソコン賃借料、住宅借上げ料、公用車借上げ料				777					
負担金補助及び交付金		研修参加負担金				25						
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	0	3,160	3,510	3,509
	②補正予算			0	
	③流充用額	0	0	0	
	④繰越額計	0	0	0	0
	前年度繰越		0	0	0
	次年度繰越		0	0	0
予算と執行の状況	財源内訳(①③④内訳)	0	3,160	3,510	3,509
	一般財源	0	3,160	3,510	3,509
	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料
特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	0/0	0.16 / 0	0.21 / 0	0.21 / 0	
⑤概算人件費	0	1,280	1,680	1,680	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	0	4,440	5,190	5,189	
⑦執行額	0	2,837	3,248	0	
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	0.0%	89.8%	92.5%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		任期後定住した人数	人	-/-	-/-	-/-	/	1
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	活動報告	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業	/	1/1	1/1	/	3	
		単位あたりコスト	0.0	2837.0	0.0			
		連絡・調整	回	/	35/40	/51	/	140
		単位あたりコスト	0.0	81.1	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・事業対象地域は、過疎法、山村振興法等のエリアであり、本市においても著しく過疎高齢化、少子化の進んだ地域であるため、地域住民のニーズは高い。 ・移住、定住など民間での取り組みもあるが、効果的に事業を推進する点で優先度は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・地域課題の解決や移住促進など、地域を特定して活動を行う点で効率が良い。 ・地域活性化という観点では、活性化への取組が多岐に渡り、効果発現まで一定の時間を要することから即効性は薄い。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・隊員自身が空き家の掘起し等の目標を設定しているため、活動に伴っているか把握、指導していく必要がある。 ・3年目に「成果」として地域住民が感じられるよう取組みを進めていく予定である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>・隊員任期後の定住が最終目標であるが、現在は任期途中のため、この点に関する達成状況の評価は出来ない。</p> <p>・地域拠点としての「いづみや」の活用は、地域住民等の協力を得ながら少しずつ実施している。</p> <p>・地域活性化や資源の活用煮についても、地域住民等の協力が動き始めている。</p>		
	今後の課題及び方向性	<p>・隊員活動は、主軸は地域協力活動であり、受入地域の主体的な取組のうえで、成果を発現するものである。隊員個々の活動に加えて、受入地域を含めた大きな動きを創り出すことが課題である。</p> <p>・今後も、隊員活動を継続して、隊員が企画している地域活性化策を地域とともに着実に実行することに注力していきたい。</p>		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	お城で忍者事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	230106	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
	開始年度	平成9年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山城の魅力を全国に発信する。						
	対象者	市民、大会参加者 (全国を対象)		観覧者 (主に観光客を対象)	対象者数	750	単位あたりコスト	4.0
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等	くの一武道大会丹波福知山の段実行委員会						
	事業概要	■福知山城の魅力を全国に発信することを目的として、忍術大会及び忍術体験会を開催する。 実行委員会を組織し企画運営を行い、まちづくり団体や市民ボランティアの協力で競技に関する道具・会場運営を行い、市民協働で実施する。 実行委員会：福知山観光協会、尼子事務所(忍たま太郎の原作者「尼子騒兵衛」事務所)、福知山市で構成 主な事業：光秀忍たま武道大会、忍者でまちぶら、くの一武道大会 ※平成30年度の「くの一武道大会」は、警報発令のため中止になった。						
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)		
	旅費				21			
	需用費				33			
	役務費				7			
	使用料及び賃借料				6			
	負担金補助及び交付金				500			
関連事業								

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	254	434	604	394	
	②補正予算				0	
	③流充用額	13	23	△ 9	0	
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	267	47	29	394	
	国支出金	0	193			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	217	566		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.25 / 0	0.1 / 0	0.3 / 0	0.3 / 0	
⑤概算人件費		2,000	800	2,400	2,400	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		2,267	1,257	2,995	2,794	
⑦執行額		267	449	567		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	98.2%	95.3%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		メディア取材件数	回	3 / 8	8 / 9	0 / 9	/	8
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施回数	回	1 / 1	1 / 1	0 / 1	/	1
		単位あたりコスト		267.0	449.0	0.0		
	応募者人数	人	93 / 100	102 / 100	38 / 100	/	100	
	単位あたりコスト		2.9	4.4	14.9			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	民間事業者と市民が協働し運営している。福知山城の立地を活かした取組となっている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	コストの割には効率よく全国にPRできる事業である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	全国から参加者があり、また全国に発信できている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		大雨警報発令により「くの一武道大会」は中止となったが、「光秀忍たま武道大会」や「忍者でまちぶら」の開催により福知山城のPRができた。	
今後の課題及び方向性		広報の方法を再検討し、また観客も参加できるしくみづくりが必要と思われる。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	あしぎぬ大雲の里かわまちづくり検討事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	320107	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
	開始年度	平成9年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市域を流れる由良川と隣接した地域において、水辺空間を活かしたまちづくりを進める。										
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	由良川の水辺空間を活かしたまちづくりを進めるため、国・府・地元団体等と連携した地域活性化策となる事業を検討していく。 H30年度の主な事業：大阪市ミズベリングの研修参加、担当者会議の開催										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
	旅費						9					
	役務費						1					
	関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	0	617	333	253	
	②補正予算					
	③流充用額	0	0	△ 90		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	199	233	0	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	418	10	253	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0 / 0	0.3 / 0	0.05 / 0	0.05 / 0	
⑤概算人件費		0	2,400	400	400	
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)		0	3,017	643	653	
⑦執行額		0	418	10		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			67.7%	4.1%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		委員提案事業数	件	0 / 0	10 / 10	0 / 10	/	10
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		検討会議開催数	回	/	6/6	0/6	/	-
		単位あたりコスト		0.0	69.8	0.0	/	0
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国府等、官家機関と協議を進め、H29年度に協議したあしぎぬ大雲の里周辺を含め、全市的な展開とすることを決定した。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	全市展開の方向性は決定していくが、詳細については今後検討していく。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	「かわ」を防災だけでなく「資源」として検討することで有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
一次評価（担当課による自己評価）	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・国府市による担当者会議を開催 ・国とミズベリング研修に参加 	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、由良川の水辺空間を活かしたまちづくりを進めるために、国府や地元団体等と連携し、地域活性化策となる事業を検討していく。 	

所見	
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	全国過疎地域自立促進連盟関連事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	520104	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040402	施策名	環境保全活動を推進する								
	開始年度	平成22年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等	福知山市過疎地域自立促進市町村計画											
	根拠法令等	過疎地域自立促進特別措置法 福知山市過疎地域自立促進基金条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	全国の過疎地域が連携することにより、過疎対策関連施策の充実を図る。										
	対象者	過疎地域(三和町、夜久野町、大江町)	対象者数	11,243	単位あたりコスト	0.2						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	全国過疎対策自立促進連盟員担金と総会参加旅費										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		旅費	協議、研修のため					43				
負担金補助及び交付金		全国過疎地域自立促進連盟会費					137					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	224	224	184	175	
	②修正予算			0		
	③流充用額	△ 11	△ 23	△ 2		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	213	201	182	175	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.3/0	0.075 / 0	0.2 / 0	0.2 / 0	
⑤概算人件費		2,400	600	1,600	1,600	
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)		2,613	801	1,782	1,775	
⑦執行額		133	138	180		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		62.4%	68.7%	98.9%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		充当事業数	事業	15 / 20	18 / 20	13 / 20	/	20
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		研修会参加数	回	0/1	1/1	1/1	/	1
		単位あたりコスト		0.0	139.0	180.0		
			/	/	/	0		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	少子高齢化と人口減少がさらに進行する中、過疎対象地域にとって、過疎対策は喫緊の課題である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	全国から過疎に関する様々な事例や情報を得ることが出来る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	過疎地域における課題解決に向け、今ある地域資源を活用し、地域産業の活性化と過疎地域の自立の促進を図っている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		過疎関連情報の収集が出来た。 収集した情報は、庁内の関連課へ資料を閲覧する等情報提供するとともに、情報共有を図った。	
今後の課題及び方向性		今の過疎計画が平成32年度までの計画であるため、今後はさらに、33年度以降の計画の方向性等について情報収集等に努める必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	中田 幸夫											
	事業名	過疎地域自立促進基金造成事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	520105	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040402	施策名	環境保全活動を推進する								
	開始年度	平成22年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等	福知山市過疎地域自立促進市町村計画											
	根拠法令等	過疎地域自立促進特別措置法 福知山市過疎地域自立促進基金条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	過疎地域自立促進特別措置法の法改正により、地域活性化、安心安全な地域社会の実現に資するソフト事業及びその財源とするための基金造成にも地方債が利用できるようになったことから、過疎債(及び生じる利子)を原資とした基金を設置した。										
	対象者	過疎地域(三和町、夜久野町、大江町)	対象者数	11,243	単位あたりコスト	14.5						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	過疎地域自立促進市町村計画において、過疎地域自立促進特別事業として位置づけたソフト事業の財源として、基金積立を行う。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
	積立金	過疎地域自立促進基金積立					162,400					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	172,400	170,100	162,400	160,900						
		②補正予算			0	0						
		③流充用額	0	0	0	0						
		④繰越額計	0	0	0	0						
	前年度繰越	前年度繰越										
		次年度繰越										
	財源内訳(①③④内訳)	一般財源	0	0	0	0						
		国支出金	0	0								
		府支出金	0	0								
		地方債	0	0								
		その他特財	172,400	170,100	162,400	160,900						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁					
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁					
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.1/0	0.1 / 0	0.13 / 0	0.13 / 0						
⑤概算人件費		800	800	1,040	1,040							
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)		173,200	170,900	163,440	161,940							
⑦執行額		172,400	170,100	162,400								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		過疎対策ソフト事業数	回	7 / 10	8 / 10	6/10	/ 10	10
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		基金造成	千円	172400/172400	170100/170100	162400/162400	/ 160900	なし
		単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		
				/	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・過疎地域自立促進特別措置法に基づいて過疎地域自立促進特別事業に要する資金に充てることを目的としている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・一定基準に基づいた額を基金をとして積立ており妥当である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・元利償還金の70%を普通交付税措置により算入することになっており、有効に活用している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		目標どおり基金を造成できた。	
今後の課題及び方向性		引き続き基金を造成し、過疎地域におけるソフト事業を推進する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	コミュニティ助成事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	710113	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する								
	開始年度	昭和52年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	コミュニティ助成事業実施要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (一般財団法人自治総合センターの助成事業)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものとする。										
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.2						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	自治会等市民団体										
	事業概要	一般財団法人自治総合センターが運営するコミュニティ助成事業の受付・申請業務。 申請にあたっては、自治会等市民団体が事業実施に向けて企画立案される段階から制度の趣旨に沿った丁寧な説明を心掛け、京都府と申請団体と密に連携をとりながら、申請書類等の点検及び修正依頼を繰り返し行なうことで、事業採択に向けて調整を行なっている。 * 平成30年度は、3事業を申請した結果、内2事業が採択された。										

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
①当初	0	0	0			
②補正予算			15,000			
③流充用額	2,500	12,300				
④繰越額計	0	0	0	0		
前年度繰越						
次年度繰越						
財源内訳(①③④内訳)						
一般財源	0	0	0	0		
国支出金	0	0				
府支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他特財	2,500	12,300	15,000			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人事費	0.05/0	0.05 / 0	0.05 / 0	0.05 / 0		
⑤概算人事費	400	400	400	400		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,900	12,700	15,400	400		
⑦執行額	2,500	12,300	15,000			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		採択件数	件	1 / 5	2 / 5	1/5	/	5	
決定金額	千円	2,500/5,000	13,300/5,000	15,600/5,000	/	5,000			
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
			申請件数	回	1 / 5	2 / 5	2/5	/	5
			単位あたりコスト		2500.0	6150.0	7500.0		
					0	0	0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	年間を通じて、自治会や地域団体から多くの要望を受けているが、本事業の趣旨に沿った事業内容を厳選し、福知山市で取りまとめの上、京都府を通じて自治総合センターへ申請している。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	自治総合センターの財源のみで補助しており、最も有効な手段と考える。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	申請全てが採択されるわけではないが、庁内で申請事業を厳選し、過去からの申請方法や結果を把握しながら京都府と調整して採択されるようはたらきかけている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		最も補助額が高額であるコミュニティセンター助成事業が2年連続で採択された。	
今後の課題及び方向性		今後もコミュニティセンター助成事業の申請が続く予定であり引き続き地元調整及び京都府との情報交換を行っていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額への反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・住民主体のまちづくり活動の呼び水としても優先度が高い事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・継続実施団体や新規団体による取組もあるが、申請件数が減少しており、それに伴い単位コストが増加している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・アンケートの実施や実績報告により適切に把握されている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	7月豪雨災害の被害で地域活性化に取り組む余裕がある団体が少なかったこともあり、申請件数は昨年度と比べて減少したものの、相談件数は1年で34件と多かった。昨年度から継続的に実施されている団体だけでなく、新規に活動に取り組まれる団体も多く、住民主体のまちづくり活動の呼び水として機能している。		
今後の課題及び方向性	○事業が主体的かつ自立的に運営されていくための中間支援のあり方の検討が課題である。 ○平成29年度から引き続き、補助率を継続年度に応じて変更することで自立を促進する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	里山交流事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	710146	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060501	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する								
	開始年度	平成26年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	・高齢化、人口減少による農村集落の活力が低下するなか、農家民宿を活用した地域産業の掘り起こし、地域振興、地域再生に繋げる。 ・移住希望者が短期滞在でき、地域を知る機会の創出のため農家民宿を活用できるよう受入体制を整える。 ・森の京都関連事業として、南丹地域(食と森の交流協議会)で行われている教育民泊とインバウンドの受入に関し連携を図る。										
	対象者	開業希望者、開業者	対象者数	21	単位あたりコスト	192.9						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社										
	事業概要	・農家民宿開業セミナー(農家民宿の開業を検討している方に、手続き・体験談等) ・農管民宿体験ツアー ・農家民宿開業支援 ・開業者交流会 ・近隣市町との連携 ・森の京都事業における教育民泊誘致に向けた連携										
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)					
	委託料	開業セミナー2回、体験ツアー1回、開業者交流会1回など					448					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	350	450	450	0	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	175	0	3	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	175	450	447	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.41/0.03	0.35 / 0	0.45 / 0	0.45 / 0		
⑤概算人件費	3,355	2,800	3,600	3,600		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	3,705	3,250	4,050	3,600		
⑦執行額	350	447	448	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	100.0%	99.3%	99.6%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		新規開業件数	件	2/5	1/5	1/5	/	30
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		開業セミナー	回	2/2	2/2	2/2	/	10
			単位あたりコスト	175.0	224.0	224.0		
体験ツアー		回	1/1	1/1	1/1	/	5	
	単位あたりコスト	350.0	448.0	448.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・農山村振興、移住希望者の短期滞在、教育民泊、インバウンドの受入など里山地域の活力向上と地域産業の創出を図る有効的な手段として農家民宿開業に向けた環境整備が必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・設備投資等の初期費用の負担が少なく、自然環境を活かした日常生活を基本に受入が可能であるため効率の良い取組となる。本市では開業セミナー等によるソフト支援が可能である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・セミナー、ツアーに加え地域協議会等の地域団体との連携により、農家民宿に対する関心が高まってきている。一般家庭での日常生活が地域振興の一助となるため有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価			<ul style="list-style-type: none"> ・新規開業者数は、目標に未到達であるが、農家民宿への関心は高まってきている。 ・教育民泊の受入家庭は、H30年度新規に13件(全13件)登録があり、団体の受入れ実績ができたこともあり、興味を持っている地域団体が複数出てきている。 ・次年度以降もさらに、地域協議会等の地域づくり組織との連携やセミナー、ツアー等を通して、農家民宿・教育民泊へ関心のある方の掘り起こしと開業・登録への不安払拭などに取組み、機運を高めていきたい。
今後の課題及び方向性			<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度まで、(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部(旧福知山観光協会)へ委託していたが、平成31年度以降は、本市産業観光課や「森の京都DMO」との連携により、より多くの農家民宿開業者や教育民泊受入家庭の増加を目指した活動を行う。 ・現在、本市での農家民宿開業件数は11件であるが、教育民泊受入家庭の登録を増やすことで、より多くの団体を受入れ、地域活性・地域振興に繋げる。

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(まちづくり推進課)											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	710147	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等	福知山市公共施設マネジメント計画											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公共施設マネジメントにより地元合意を得た市有集会所の地元譲渡を推進する。										
	対象者	市民、自治会	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.4						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会										
	事業概要	地元要望の際には、公共施設マネジメント方針の説明を行い譲渡に向けた合意のため協議・説明を行う。 地元合意を得た集会施設に対して土地の境界確定及び登記、建物の登記等を行うことにより円滑な地元譲渡を進める。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
		需用費								370		
役務費									2			
委託料									8,227			
工事請負費									15,714			
関連事業	負担金補助及び交付金											
								2,537				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	3,768	23,586	29,456	54,771						
		②補正予算			0							
		③流充用額	854	0	0							
		④繰越額計	0	0	0	0						
		前年度繰越										
		次年度繰越										
	財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	40	0	2,772	54,771						
		国支出金	0	0	399							
		府支出金	0	0								
		地方債	0	9,400								
		その他特財	4,582	14,186	26,285							
		主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.30/0	0.3 / 0	0.7 / 0	0.7 / 0						
⑤概算人件費		2,400	2,400	5,600	5,600							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		7,022	25,986	35,056	60,371							
⑦執行額		4,591	20,917	26,658								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		99.3%	88.7%	90.5%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		民間譲渡に至った件数(累計)	件	1 / 43	4 / 43	8 / 43	/	43
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		集会所譲渡に向けた機能補修件数(累計)	件	3 / 43	7 / 43	10 / 43	/	43
		単位あたりコスト		0.0	4183.6	8886.0		
地元合意に至った件数(累計)		件	4 / 43	10 / 43	13 / 43	/	43	
	単位あたりコスト		1148.0	2091.8	8886.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	公共施設マネジメント実施計画に基づき、地域コミュニティに欠かすことのできない集会施設の譲渡に向けて、目的・目標を定めて実施している。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	集会施設の機能補修、土地の境界確定及び譲渡に係る認可地縁団体の設立等、地元自治会との調整に時間を要する。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	成果目標については、公共施設マネジメント基本計画に基づき、43の集会施設全てを譲渡することとしている。地元で集会施設を管理運営してもらうことでコスト削減に繋げることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		4件の譲渡を予定し4件実施。 平成31年度においても譲渡交渉とともに境界確定、機能補修を行い地元譲渡を推進していく。	
今後の課題及び方向性		譲渡を受けない施設についての活用方法の検討。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	集会所等維持管理関連事務事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	710202	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する								
	開始年度	平成1年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域活動や防災活動の拠点である集会所の維持により、施設の安全性や機能・利便性が向上し、地域コミュニティの活性化を図る。										
	対象者	市民 自治会	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	・市有集会所施設の維持管理業務(建物総合損害保険料) ・市及び地元所有集会所に関する維持管理に係る業務(補助制度の調整、地元説明資料作成等)										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
	旅費	国府等との協議					51					
	需用費	消耗品					22					
	役務費	保険料、郵送料					326					
	使用料及び賃借料	複写機使用料					104					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	434	427	421	371	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	△ 4	88		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)	434	87	161	30	
	一般財源					
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	336	348	341	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.15/0	0.15 / 0	0.1 / 0	0.1 / 0	
⑤概算人件費		1,200	1,200	800	800	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		1,634	1,623	1,309	1,171	
⑦執行額		394	395	503		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		90.8%	93.4%	98.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		民間譲渡に至った件数(累計)	件	1 / 43	4 / 43	8 / 43	/	43
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		集会所譲渡に向けた機能補修件数	件	0 / 43	5 / 43	3 / 43	/	43
		単位あたりコスト		0.0	79.0	167.7		
民間譲渡合意に至った件数		件	4 / 43	6 / 43	3 / 43	/	43	
	単位あたりコスト		98.5	65.8	167.7			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・公共施設マネジメント実施計画に基づき、地域コミュニティに欠かすことのできない集会施設の譲渡に向けて、目的・目標を定めて実施している。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・集会施設の機能補修、土地の境界確定及び譲渡に係る認可地縁団体の設立等、地元自治会との調整に時間を要する。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、公共施設マネジメント基本計画に基づき、43の集会施設全てを譲渡することとしている。地元で集会施設を管理運営してもらうことでコスト削減に繋げる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		公共施設マネジメント実施計画においては本年度4件の譲渡を予定し4件実施。また、国府との補助金調整も行った。	
今後の課題及び方向性		引き続き、集会所維持に関する業務を行っていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	集会施設等整備事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	710210	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する								
	開始年度	平成1年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地元自治会が所有する集会施設等の整備に対して支援を行うことにより、地域活動や防災活動の拠点である集会施設の機能性や利便性を向上し、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする。				
	対象者	市民 受益者(自治会を対象)	対象者数	2,500	単位あたりコスト	2.4
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	自治会				
	事業概要	■各自治会が主体となって施行する地元所有の集会施設整備に対して、福知山市集会施設等整備事業補助金交付要綱に基づき、申請のあった自治会に対して補助金を交付する。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)		
	負担金補助及び交付金	篠尾中央集会所、東野町公民館、市原公会堂、今西中公民館	4,342			
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	1,010	708	4,343	402
	②補正予算			0	
	③流充用額	0	0	0	
	④繰越額計	0	0	0	0
	前年度繰越				
	次年度繰越				
予算と執行の状況	一般財源	0	0	1	0
	国支出金	0	0		
	府支出金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	1,010	708	4,342	402
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.25 / 0	0.1 / 0	0.2 / 0	0.2 / 0	
⑤概算人件費	2,000	800	1,600	1,600	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	3,010	1,508	5,943	2,002	
⑦執行額	1,010	708	4,342		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		補助件数	件	2 / 2	2 / 2	4/4	/	なし
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	要望に対する実施率	%	2 / 2	2 / 2	4/4	/	100%	
	単位あたりコスト		505.0	354.0	1085.5			
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・老朽化する集会所施設が増えておりニーズは高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・平成29年度より制度を改め補助率を1/3で統一し上限額を定めることにより、補助率を明確化し、コスト削減及び事務効率化が期待できる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、必要性を考慮した上で地元要望に全て答えるようになっている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		目標どおり4件の補助を行った。	
今後の課題及び方向性		公共施設マネジメント計画との関連で地元所有の集会所施設が増えていく。また、今後ますます老朽化集会所施設が増えていくことが懸念される。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	市民憲章推進事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	710305	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010102	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する								
	開始年度	平成3年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然に囲まれたふるさと福知山で、市民1人ひとりが生き生きと喜びをもって暮らすことのできる住みよいまちづくりを進めるための行動指針として、平成3年4月1日に福知山市市民憲章が制定された。市民(58団体・21個人)により組織された福知山市市民憲章推進協議会を中心とした取組により、市民の主体的なまちづくりへの参画を促進するとともに、市民憲章の普及と「幸せを生きる」社会の具現化を目指す。					
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	福知山市市民憲章推進協議会					
	事業概要	■福知山市市民憲章の普及、「共に幸せを生きる」社会の具現化を目指した継続的な事業を展開する。 ■平成30年度事業概要 ・福知山市市民憲章推進大会(ツインクル賞、四季の写真入賞者表彰、高校生による活動発表) ・花いっぱい運動(花時計の花の植替え・維持管理・イルミネーション、キキョウ苗配布、福知山城へのキキョウの植栽) ・笑顔の写真、ふくちやま四季の写真募集事業 ・市民憲章啓発活動(市内イベント、街頭啓発) ・市民憲章啓発物品作成					
主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)		
	負担金補助及び交付金	全国協議会負担金、交付金			2,015		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	2,683	2,083	2,083	2,076
②修正予算					
③流充用額	0	0	△ 13		
④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越					
次年度繰越					
財源内訳 (①④内訳)					
一般財源	2,683	2,083	2,070	2,076	
国支出金	0	0	0	0	
府支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.30 / 0	0.3 / 0	0.5 / 0	0.5 / 0	
⑤概算人件費	2,400	2,400	4,000	4,000	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	5,083	4,483	6,070	6,076	
⑦執行額	2,664	2,015	2,015		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.3%	96.7%	97.3%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		市民憲章推進協議会構成団体数(個人会員含む)	団体等	78 / 80	78 / 80	79 / 80	/	80
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		部会等会議開催数	回	34 / 30	28 / 30	7/30	/	30
		単位あたりコスト		78.3	71.9	287.9	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0	/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	まちづくりの理念である、市民憲章の普及・啓発は重要であり、市民団体が主体となって実施する点においても適切かつ優先度の高い事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	市民憲章推進協議会も府の補助金や自己資金で事業を運営するなど、妥当な水準である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	総会終了後、市に事業報告書を提出しており、適切に把握されている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>○推進委員と高校生・大学生とのワークショップと意見交換会を複数回実施することで、市民憲章の普及・啓発を推進することができた。</p> <p>○LINEカードや市HP、市内各施設及びイベントでのチラシの配布など、多様な手法による広報で、推進大会参加者を多く参集することができた。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>○福知山公立大学の教員・学生と協働し、市民憲章についてさらに周知・推進・啓発を行うとともに、事業に参画いただくよう、調整する。</p> <p>○大河ドラマの関係で、市民憲章でも明智光秀をPRするようなイベントを検討する。</p> <p>○企業協賛等を募って、市の交付金に頼り過ぎない運営を目指す。</p>	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額への反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課												
	作成責任者	中田 幸夫												
	事業名	自治会長関係事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	会計	一般会計	事業コード	720139	決算付属資料	61	頁
	施策体系	施策コード	010101	施策名	地域コミュニティ活動を活性化する									
	開始年度	昭和36年度												
	終了予定年度	平成32年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	自治会長に対する事務委嘱要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営と住民自治を実現する。					
	対象者	自治会長	対象者数	327	単位あたりコスト	356.8	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	(株)レントオール福知山、舞台照明CREW SOLOOK					
	事業概要	・行政事務の円滑化を図るため、自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営を行う。 1 委嘱事務・・・市広報紙等の配布、周知事項の連絡、各種募金の取扱い等 2 自治会長運営委員会の開催(年2回) 3 自治会長会の開催(年2回) ・地域(市民)と行政とのパイプを活用した「風通しのよい市役所」の実現を目指すことを目的として、自治会ごとに「地区担当職員」を配置する。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		報酬	地方自治法に基づく自治会長への報酬			100,547	
報償費		自治会長運営委員への報償費			1,416		
需用費		用紙等消耗品			318		
役務費		郵送料			777		
旅費、委託料、使用料及び賃借料		自治会長会会場設営等、施設使用料			1,197		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当 予算	①当初	104,250	103,926	104,634	105,668
	②補正予算			0	
	③流充用額	66	24	378	
	④繰越額計	0	0	0	0
	前年度繰越		0	0	0
	次年度繰越		0	0	0
	財源内訳(①③④内訳)				
一般財源	104,316	103,950	105,012	105,668	
国支出金	0	0	0	0	
府支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.22/0.20	0.63 / 0.45	1.17 / 0.92	1.17 / 0.92	
⑤概算人件費	2,260	6,165	11,660	11,660	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	106,576	110,115	116,672	117,328	
⑦執行額	103,635	103,769	104,255		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	99.3%	99.8%	99.3%	0.0%	

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	自治会長会開催数	回		2/2	2/2	2/2	/
文書送達件数(各戸配布)	回		62/55	40/55	41/55	/	40
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	地区担当職員の活動件数	回	804/1308	907/1308	997/1308	/	1308
	単位あたりコスト		132.6	121.8	104.6		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民にとって最も身近な組織である自治会と市は、連携を保ち円滑な住民サービスの提供及び各種施策の推進を図っていく必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	市民への行政情報提供のための各種お知らせ等の回覧や各戸配布については、自治会のネットワークが非常に効率的な手段となっている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	地区担当制度により、地域の代表者である自治会長と定期的に連絡をとり「地域の声」を聞き、地域課題に関する施策や行政事務を円滑に進めることができている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	自治会長事務委嘱要綱に基づき、広報の配布などの事務を委嘱し市政の実施に協働で取り組んでいる。		
今後の課題及び方向性	公開事業検証において「あり方の見直しが妥当」との意見を受け、自治会長への事務の委嘱のあり方などについて検討を進める。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課												
	作成責任者	中田 幸夫												
	事業名	みんなのまちづくり推進事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	720202	決算付属資料	91	頁
	施策体系	施策コード	010102	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する									
	開始年度	平成29年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年4月に施行した福知山市自治基本条例が掲げる市民主体のまちづくりと持続可能な住民自治を推進していく。											
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等	—											
	事業概要	自治基本条例推進委員会を設置し、まちづくりへの市民参画の状況把握や自治基本条例が適切に運営されているかどうかを検証・検討する。また、住民自治検討会議の報告や各地域の現状と課題を踏まえ、本市における地域づくり組織のあり方や市の支援策等について検討する。											
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)			
		報酬	福知山市自治基本条例推進委員会委員報酬							150			
報償費		住民自治検討会議委員謝礼							320				
旅費		住民自治検討会議市外委員旅費							106				
需用費		市民啓発用リーフレット、PPC用紙、カラーインク等							177				
役務費・備品購入費		郵送料、ハードディスク							41				
関連事業													

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	0	1,540	1,422	442	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	174	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	174	1,422	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	1,540	0	442	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0/0	1.48 / 0	0.85 / 0.02	0.85 / 0.02		
⑤概算人件費	0	11,840	6,850	6,850		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	13,554	8,272	7,292		
⑦執行額	0	1,431	794			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	—	83.5%	55.8%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		地域協議会数	団体	3/3	3/3	3/7	/	9
			0	/	/	/	0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		自治基本条例推進委員会	回	—	—	2/1	/	0
			単位あたりコスト	—	0.0	150.0		
住民自治検討会議数		回	0	6/6	6/6	/	0	
	単位あたりコスト	—	238.5	337.7				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市の条例の最高規範である自治基本条例に基づく「市民協働によるまちづくり」の推進と市民への条例の周知と理解の取組みは重要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	地域でのまちづくり活動を実践されている方や大学教授を委員とし、地域の現状と課題を踏まえ、効率的な議論ができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	限られた時間の中で、持続可能な住民自治を推進するためのあるべき姿等の検討について、進めることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度から開催する住民自治検討会議において、持続可能な住民自治を推進するための新たなしくみである地域づくり組織のあり方や方向性を議論することができた。また、自治基本条例推進委員会を設立し、条例推進の取組みについて検討を進めることができた。		
今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治検討会議からの報告を踏まえ、地域づくり組織への人的・財政的支援の具体策を定めて行く。 ・自治基本条例推進委員会において、市民への条例周知にかかる取組みや条例の運用にかかる検証・検討を進める。 		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課												
	作成責任者	中田 幸夫												
	事業名	地域づくり組織支援事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	720205	決算付属資料	91	頁
	施策体系	施策コード	010103	施策名	新たな協働の仕組みにより地域力を再生・強化する									
	開始年度	平成27年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	福知山市自治基本条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	一定のまとまりのある地域においてその地域の住民等により構成された包括的な自治組織である「地域づくり組織」の活動に対して、継続的な活動をしていくために必要な支援を行うとともに、新たに地域づくり組織を設置しようとする組織に対して設立準備のための支援を行う。 また、市民協働によるまちづくりについて理解を深めるとともに、自立した地域づくりについて学ぶ機会を提供する。												
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.5								
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (交付金)												
	委託先・実施主体等	三和地域協議会、夜久野みらいまちづくり協議会、大江まちづくり住民協議会												
	事業概要	現在、活動されている地域づくり組織(三和地域協議会、夜久野みらいまちづくり協議会、大江まちづくり住民協議会)に対して「地域づくり組織支援事業交付金」を交付する。 また、新たに地域づくり組織の設立を検討している地域等において、地域づくり講座を開催するとともに、市民協働や自立した地域づくりについて学ぶ機会を提供する。												
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費(見込値)	
		報償費	まちづくりセミナー、まちづくり講演会講師謝礼										735	
旅費		やねだん故郷創生塾参加旅費										58		
需用費		まちづくりセミナーチラシ、PPC用紙等										217		
役務費・使用料及び賃借料		郵送料、会場使用料										5		
負担金補助及び交付金		地域づくり組織支援事業交付金										21,270		
関連事業														

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初			28,821	29,641
	②補正予算			0	
	③流充用額			0	
	④繰越額計			0	0
	前年度繰越			0	0
	次年度繰越			0	0
予算と執行の状況	一般財源			0	0
	国支出金			0	0
	府支出金			0	0
	地方債			0	0
	その他特財			28,821	29,641
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料
人事費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.95 / 0.02	0.95 / 0.02	
⑤概算人事費			7,650	7,650	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)			36,471	37,291	
⑦執行額			24,725		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)			85.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		地域づくり組織数	団体			3/3	3/3	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		部会・研修等開催回数	回		153/132	183/132	/	
		単位あたりコスト					/	
		単位あたりコスト						

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域住民のニーズに沿った、きめ細かな事業を展開していくために、地域づくり組織の果たす役割は大きい。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	旧3町の3地域協議会の活動による効果等の検証と住民自治検討会議での意見を踏まえ、交付金等の支援について定めていく必要がある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	旧3町地域において、地域の活性化の取組みや移住・定住、空家対策など、行政主導ではなく、地域・市民が主体となった取組みが行われている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	地域・市民が主体の住民自治を継続するための活動について支援することができた。 指標の地域づくり組織の設立数については満たしていないが、3地域協議会の部会の活動は、目的意識をもって活発に活動されている。		
今後の課題及び方向性	今後の住民自治のあり方について検討された住民自治検討会議での意見を参考に、地域づくり組織の活動エリア、組織のあり方、行政の支援について、具体的な方向性を決めていく。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課												
	作成責任者	中田 幸夫												
	事業名	みんなで解決支援事業(ふくれポ)												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	720206	決算付属資料	91	頁
	施策体系	施策コード	010102	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	自治会又は自治会を主体として構成される団体とボランティア団体が協働して地域の課題を解決するため、地域での活動に参加しやすい環境をつくり、市民の地域貢献への意識の醸成を図り、市民協働のまちづくりを推進する。											
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等	自治会及び自治会を主体として構成される団体											
	事業概要	地域の課題解決のため、地域の住民やボランティア団体が協働で取り組む事業に対し、補助金を交付する。また、ボランティア団体やNPO団体等の活動を支援・促進するためのセミナーを開催する。											
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)			
		報償費	セミナー講師謝礼							40			
		旅費	セミナー講師との調整							0			
		需用費	色上質紙等										
		役務費	郵送料							6			
負担金補助及び交付金	補助金							29					
関連事業													

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			433	253	
	②補正予算			0		
	③流充用額			0		
	④繰越額計			0	0	
	前年度繰越			0	0	
	次年度繰越			0	0	
	財源内訳(①③④内訳)			433	253	
	一般財源			0	0	
	国支出金			0	0	
	府支出金			0	0	
	地方債			0	0	
	その他特財			0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.28 / 0.02	0.28 / 0.02		
⑤概算人件費			2,290	2,290		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			2,723	2,543		
⑦執行額			75			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			17.3%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		セミナー参加者	人			26/15	/	
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		補助金交付件数	件			1/1	/	
		単位あたりコスト				75.0		
	単位あたりコスト					/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	この事業をきっかけとして、地域の活動に参加しやすい環境をつくり、地域貢献への意識の醸成を図る事業として、市民協働のまちづくりに大きな役割を持つものと考えている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	課題解決に向けた取組みを事業者に依頼するのではなく、ボランティア団体と協力することで、大幅にコストは軽減される。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	住民がボランティアとの協働により、課題解決を行うことで、地域への貢献を実感し、地域貢献への意識の醸成を図ること併せ、ボランティア団体の育成にも繋がる取組みと考えている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		平成30年度はこの事業の周知等が十分にできなかったが、1団体の利用目標は達成できた。また、地域で活動するNPOや各種団体に呼びかけ、みんなの活動ステップアップ講座～「つながり」から生まれる次の一歩～と題した講座を開催したことにより、団体同士の交流や新たな活動を生むきっかけとした。	
今後の課題及び方向性		自治会等にこの制度について、十分周知を行う。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課												
	作成責任者	中田 幸夫												
	事業名	次世代交流ワークショップ事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	820258	決算付属資料	91	頁
	施策体系	施策コード	010102	施策名	市民主体のまちづくり活動を支援する									
	開始年度	平成28年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高校生などの若者を中心とする市民が福知山市のまちづくりや未来について意見を交わす場を創出し、若者のまちづくり意識の向上や意見の抽出、郷土愛の醸成を図るとともに、にぎわいと活気ある福知山の新時代を切り拓く人材を育成する。												
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	—												
	事業概要	無作為抽出により募集した幅広い年代の市民と、高校生・大学生などがグループ討議により福知山のまちづくりに関する多様な議題について意見を交わす「ふくちやま次世代交流ワークショップ」を開催する。 また、市内の高等学校において、地域人材の派遣などによる若者の人材育成を行う「高校生フューチャーセッション」を開催し、福知山の将来や自分の人生について語るワークショップを行う。												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)				
		報償費	高校生フューチャーセッション講師謝礼							170				
		旅費	打ち合わせにかかる旅費							58				
		需用費	チラシ用上質紙、案内用封筒、はがき等							72				
		役務費	郵送料							188				
使用料及び賃借料・備品購入費		高速道路通行料(打ち合わせ時)、プリンタ							83					
関連事業														

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	2,366	2,134	1,974	1,020	
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 513	△ 98	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越			0	0	
	次年度繰越			0	0	
予算と執行の状況	一般財源	0	1,018	1,780	553	
	国支出金	1,853	1,018	194	467	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.56/0	0.56 / 0	0.45 / 0.02	0.45 / 0.02		
⑤概算人件費	4,480	4,480	3,650	3,650		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	6,333	6,516	5,624	4,670		
⑦執行額	1,853	1,742	571			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	100.0%	85.6%	28.9%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		アンケートで再度の参加を希望した人の割合	%		58/50	97/60	86/70	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	ワークショップ参加者	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ワークショップ参加者	人	71/100	94/100	98/100	/	100
		単位あたりコスト		26.1	18.5	0.0		
		ワークショップ実施数	回	5/9	6/9	6/9	/	0
		単位あたりコスト		370.6	290.3	95.1		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	若者のまちづくり参画意識や郷土愛の醸成のために必要な取組みである
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	平成30年度からこれまで民間事業者に委託していた部分を市が行うこととし、コスト削減を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	実施回数などの実績は把握できているが、即効性のある事業とは違い、若者のまちづくりへの参画意識、郷土愛の醸成を図る指標を設定することが難しい事業であるが、継続して実施することが重要と考えている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>高校生や大学生などの若者を中心とした市民が、共通のテーマで話し合い、理解しあい、学びあうことのできる場作りと、郷土愛の醸成を起点とした市民協働の取組みを実施できた。</p> <p>事業委託を取りやめたが、福知山公立大学や龍谷大学の学生が主体となって当日の運営に参画したことで円滑な話し合いができ、さらに学生が地域やまちづくりを知るきっかけとなった。</p> <p>アンケートからは、多様なせだいや背景を持つ参加者との話し合いにより、これまで知らなかった福知山の魅力や課題を知ることができたという意見が多くあり、今後も「地域の魅力を伝えたい」「色々な人と話そうにしたい」との声も聞かれたことから、郷土愛の醸成やまちづくりへの参画意識向上などに一定の効果があったと考える。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>この事業を実施したことによる効果や成果の把握の継続した測定が必要。</p> <p>また、市内高校生と市出身の大学生の参加促進についての方策や福知山公立大学が主体的に関わるよう検討する。</p>		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課											
	作成責任者	谷口 智広											
	事業名	地域振興基金造成事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	130315	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	令和2年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	福知山市地域振興基金条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市地域振興基金条例に基づき、市民の連帯の強化及び地域振興に要する資金を地域振興基金に積み立て、今後市民の連帯感の醸成や地域振興に資する事業の財源として活用する。										
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	1,265.8						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
事業概要	平成30年度の予算の一般財源分を地域振興基金に積み立て、地域活性化、産業支援、また観光誘客など、将来の地域振興施策の財源として活用する。											

主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
		積立金	地域振興基金積立金
関連事業			

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額			
配当予算	①当初	0	0	0	0			
	②補正予算			100,000,000				
	③流充用額	0	0					
	④繰越額計	0	0	0	0			
予算と執行の状況	前年度繰越							
	次年度繰越							
	財源内訳(①④内訳)							
	一般財源	0	0	100,000,000	0			
	国支出金	0	0					
	府支出金	0	0					
	地方債	0	0					
その他特財	0	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁
人件費	0 / 0	0 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0				
⑤概算人件費	0	0	80	0				
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	0	100,000,080	0				
⑦執行額	0	0	100,000,000	0				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	0.0%	100.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		基金充当事業	千円		13 / 30	34 / 30	37 / 30	/ 30
				/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	基金造成	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		千円		0 / 0	0 / 0	100000 / 0	/ 0	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	1.0		
				/	/	/	/	
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	福知山市地域振興基金条例に基づき、市民の連帯の強化及び地域振興に要する資金を地域振興基金に積み立てている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	合併特例債を活用して積み立てた基金を活用している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市民の連帯感の醸成や地域振興に資する事業の財源として有効に活用している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		合併後平成18年度から平成27年度までの10年間は、合併特例債を活用し基金に積み立てを行ってきたが、3年ぶりに一般財源を基金に造成することができた。	
今後の課題及び方向性		積み立てた基金の運用計画が必要である。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	